

交付運用報告書



グローバル・サプライチェーン・ファンド

(為替ヘッジあり) (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／その他資産（短期売掛債権）

賢者の設計

いい投資は、“設計”で、
もう勝っている

（為替ヘッジあり）

第1期末（2025年8月25日）	
基準価額	10,241円
純資産総額	2,530百万円
第1期（2024年9月13日～2025年8月25日）	
騰落率	2.4%
分配金合計	0円

（為替ヘッジなし）

第1期末（2025年8月25日）	
基準価額	11,149円
純資産総額	274百万円
第1期（2024年9月13日～2025年8月25日）	
騰落率	11.5%
分配金合計	0円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

その他の記述

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、ペイビュー・アセット・マネジメント株式会社のホームページで閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLのHPメニュー「運用サービス」から「ファンド情報」を選択し、ファンド名の下の「基準価額・運用報告書」を選択することにより、閲覧およびダウンロードすることができます。

第1期（決算日：2025年8月25日）

作成対象期間：2024年9月13日～2025年8月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「グローバル・サプライチェーン・ファンド（為替ヘッジあり）（為替ヘッジなし）」は、2025年8月25日に第1期決算を行いました。

ここに当期の運用状況をご報告申し上げます。当ファンドは、「ジーケフリード・グローバル・トレード・ファイナンス・ファンドSPⅡ」を通じ、日米欧を中心とした優良グローバル企業の貿易における短期の売掛債権へ投資を行うことにより、安定的なインカム・ゲインを追求した運用を行います。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



BAYVIEW
ASSET MANAGEMENT

ペイビュー・アセット・マネジメント株式会社

〒102-0082 東京都千代田区一番町29-1 番町ハウス

www.bayview.co.jp

当運用報告書に関するお問い合わせ先：営業部

電話番号 03-6736-4409

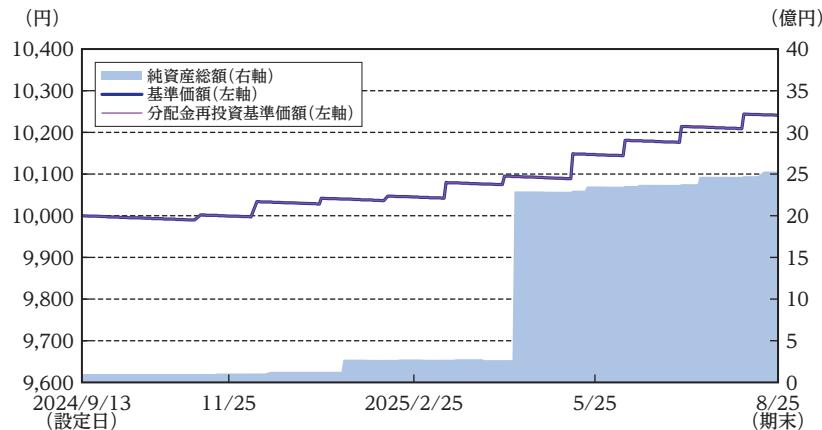
受付時間：営業日の9:00～17:00



運用経過の説明

(為替ヘッジあり)

■ 基準価額等の推移（2024年9月13日～2025年8月25日）



設定期	10,000円
第1期末	10,241円
既払分配金	0円
騰落率 (分配金再投資ベース)	2.4%

(注1) 上記の基準価額の推移は、当ファンドの信託報酬及び実績報酬控除後の価額を用いて計算しております。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの基準価額は上昇しました。期を通じて優良グローバル企業向け売掛債権の実質的な組入比率を高位に維持し、利息収入を安定的に積み上げました。但し、高止まりする為替ヘッジコスト（為替変動のリスクを避けるために要するコスト）が負担となり、当期の騰落率（分配金再投資ベース）は+2.4%となりました。

<プラス要因>

「ジークフリード・グローバル・トレード・ファイナンス・ファンドSP II」（以下、「投資対象ファンド」）の発行するクラスB（JPY-ACC）シェアを通じて優良グローバル企業向け売掛債権に投資し、利息収入を安定的に積み上げたことが基準価額のプラス要因となっています。

<マイナス要因>

投資対象ファンドの発行するクラスB（JPY-ACC）シェアにおける為替ヘッジコストが基準価額のマイナス要因となりました。但し、為替ヘッジコストは、日米の短期金利差によって決まる為、2024年9月からの同金利差縮小を受け期を通じて低下傾向となっています。



■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2024年9月13日～2025年8月25日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社)	61円 (58)	0.607% (0.575)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(1)	(0.010)	運用報告書類の送付、口座管理、情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.021)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用)	2 (1)	0.017 (0.015)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(保管振替費用)	(0)	(0.002)	保管振替機構に支払う投資信託受益権の管理手数料
合計	63	0.624	

期中の平均基準価額は10,072円です。

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含みます）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含みます）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しております。

(注3) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

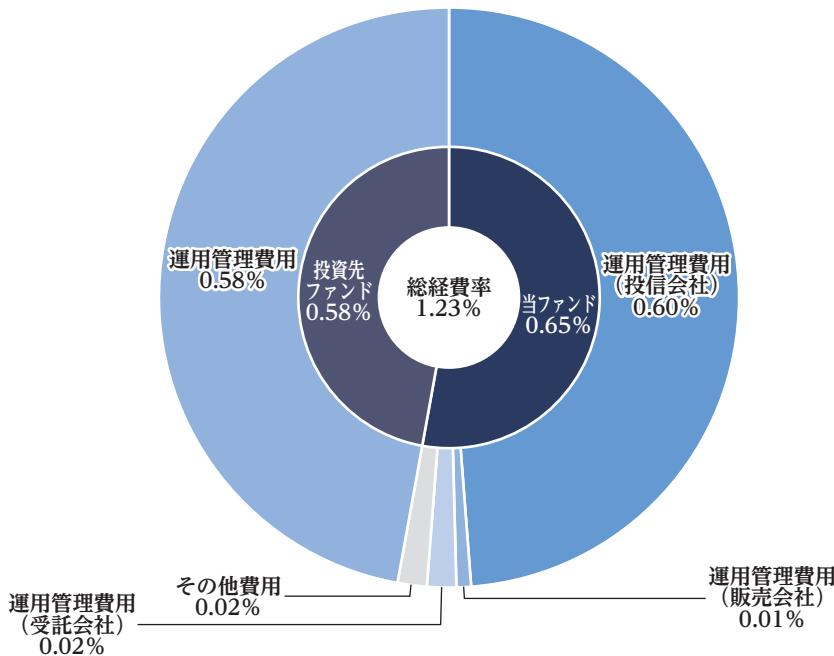
(注4) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しております。



(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.23%です。



総経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く） (①+②)	1.23%
①当ファンドの費用の比率	0.65%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

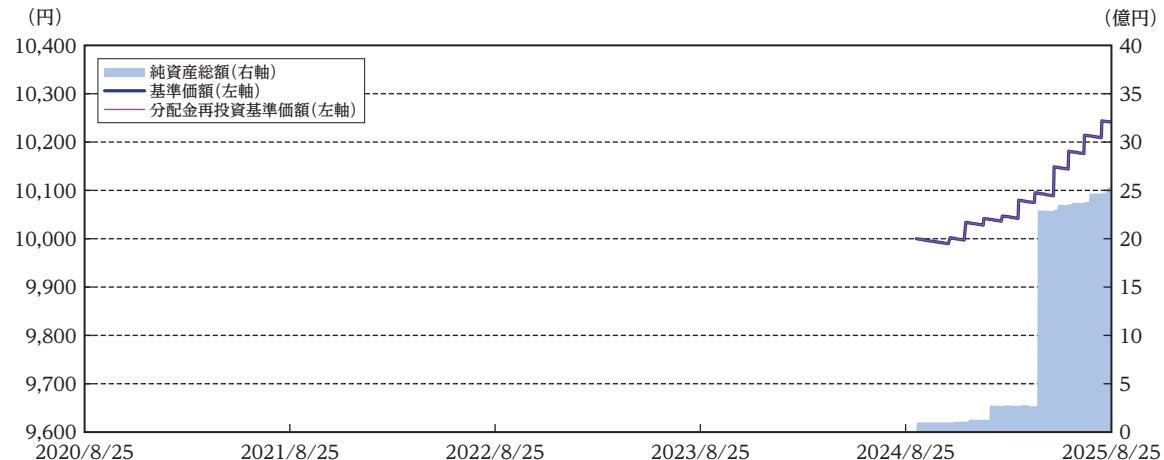
(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がかかる場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



■ 最近5年間の基準価額等の推移（2020年8月25日～2025年8月25日）



※当期末においてファンド設定日（2024年9月13日）から5年に満たないため、設定時を起点として計算しています。

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

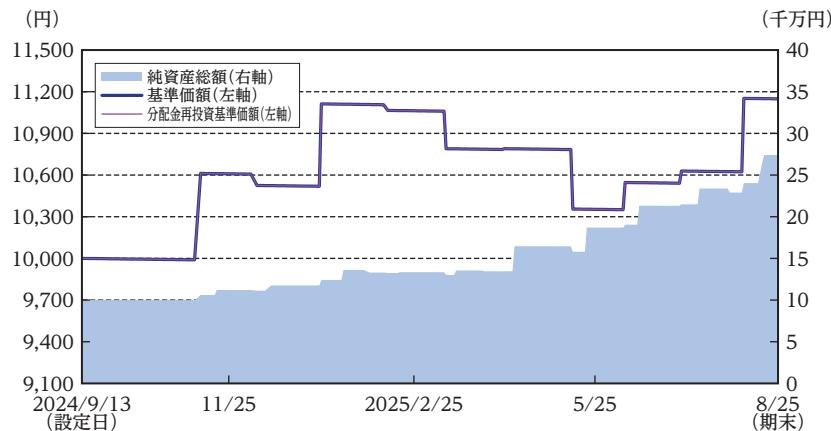
項目	2024/9/13 設定日	2025/8/25 決算日
基準価額（円）	10,000	10,241
期間分配金合計（税込み）（円）	—	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	2.41
純資産総額（百万円）	99	2,530

（注）当ファンドでは、適切なベンチマークが存在しない為ベンチマークを設けておらず、参考指数もございません。



(為替ヘッジなし)

■ 基準価額等の推移（2024年9月13日～2025年8月25日）



設定期	10,000円
第1期末	11,149円
既払分配金	0円
騰落率 (分配金再投資ベース)	11.5%

(注1) 上記の基準価額の推移は、当ファンドの信託報酬及び実績報酬控除後の価額を用いて計算しております。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの基準価額は上昇しました。期を通じて優良グローバル企業向け売掛債権の実質的な組入比率を高位に維持し、利息収入を安定的に積み上げました。加えて、為替も円安ドル高となり、当期の騰落率（分配金再投資ベース）は+11.5%となりました。

<プラス要因>

「ジークフリード・グローバル・トレード・ファイナンス・ファンドSP II」（以下、「投資対象ファンド」）の発行するクラスB（JPY-UH-ACC）シェアを通じて優良グローバル企業向け売掛債権に投資し、利息収入を安定的に積み上げたことや、為替が円安ドル高となったことが基準価額のプラス要因となっています。

<マイナス要因>

特にありません。



■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2024年9月13日～2025年8月25日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社)	64円 (61)	0.607% (0.575)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(1)	(0.010)	運用報告書類の送付、口座管理、情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.021)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用)	2 (2)	0.021 (0.014)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(保管振替費用)	(1)	(0.007)	保管振替機構に支払う投資信託受益権の管理手数料
合計	66	0.628	

期中の平均基準価額は10,580円です。

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含みます）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含みます）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しております。

(注3) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

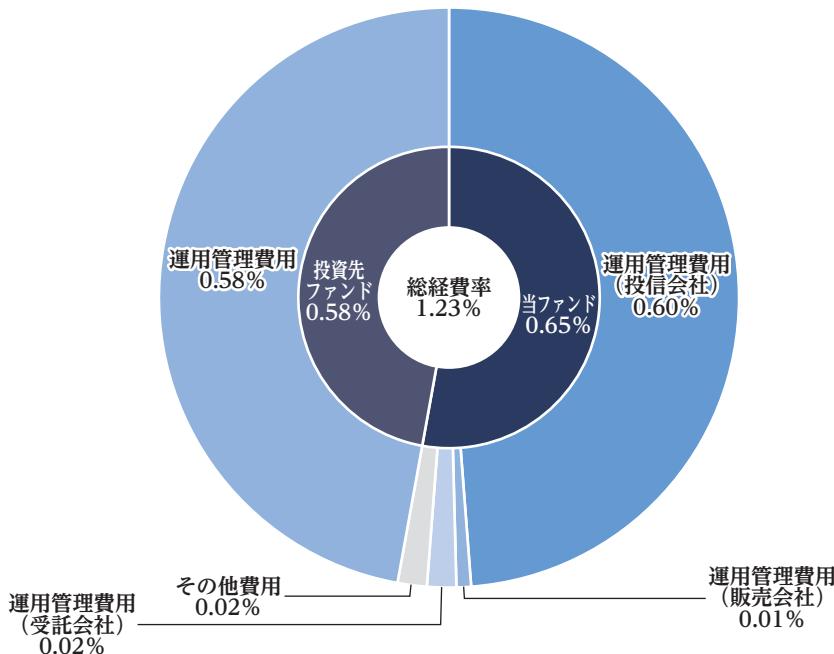
(注4) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しております。



(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.23%です。



総経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）（①+②）	1.23%
①当ファンドの費用の比率	0.65%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

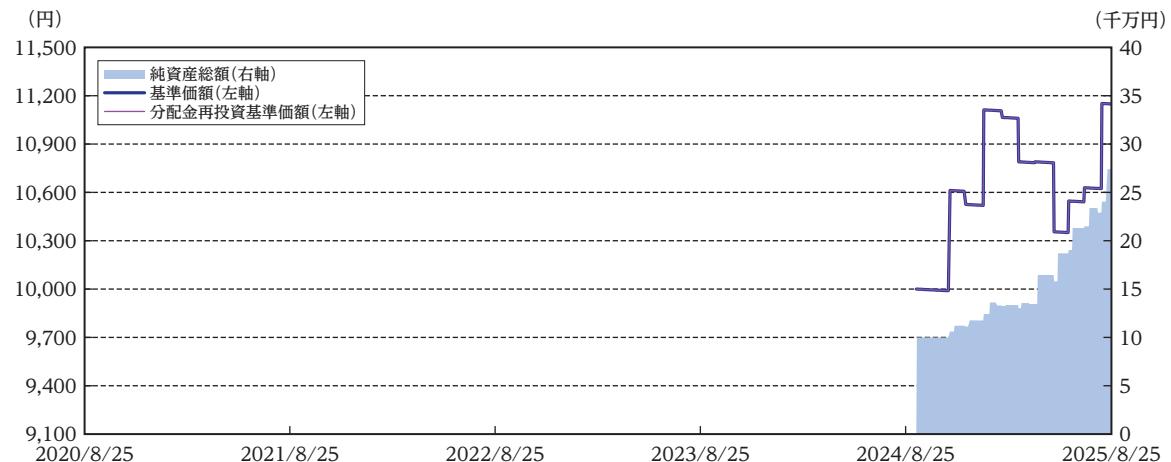
(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がかかる場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



■ 最近5年間の基準価額等の推移（2020年8月25日～2025年8月25日）



※当期末においてファンド設定日（2024年9月13日）から5年に満たないため、設定時を起点として計算しています。

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

項目	2024/9/13 設定日	2025/8/25 決算日
基準価額（円）	10,000	11,149
期間分配金合計（税込み）（円）	—	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	11.49
純資産総額（百万円）	99	274

(注) 当ファンドでは、適切なベンチマークが存在しない為ベンチマークを設けておらず、参考指数もございません。



■ 投資環境

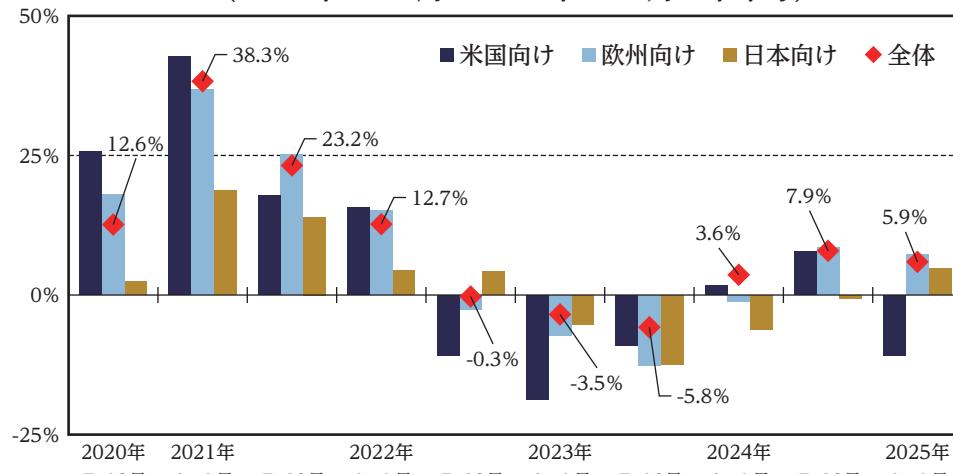
当ファンドの投資対象ファンドは、中国を中心にアジア圏の中小企業が、優良グローバル企業（フォーチュン500に代表される主に先進国の大手企業）へ商品を輸出した際の売掛債権に投資を行っており、中国からの輸出額の動向等をモニタリングしています。

現時点で最新の2025年4-6月のデータによると、中国の同四半期の輸出額は全体で9,568億米ドルでした。前年の同時期からの伸び率は、1-3月の5.7%から6.2%へと小幅に加速しています。投資対象ファンドで扱う貿易取引に関連する輸出先地域別に見ると、欧州向け（ロシアを除く）の輸出は4.7%から9.6%へ、日本向けも2.8%から6.8%へと好調でした。しかし、米国向けは4.4%から大きく落ち込んでマイナス23.9%になりました。これは米国で関税強化を公約に掲げたトランプ氏が大統領に就任し、公約が実行される前の1-3月に駆け込みで輸出が増えた反動や、4月から5月にかけて実際に中国製品への関税が145%まで引き上げられたことを受けて、企業が貿易取引の一部を先延ばしにしたことが原因と考えられます。

四半期ごとのデータは変動が大きいため、半年ごとのデータも確認すると、2025年1-6月の輸出額は全体で1兆8,090億米ドル、前年の同時期からの伸び率は2024年7-12月の7.9%から5.9%になりました。輸出先地域別では、欧州向けが8.6%から7.3%と引き続き高い水準を保ち、日本向けはマイナス0.7%から4.8%へと改善しました。一方、米国向けは7.8%からマイナス10.9%へと減速しています。

但し、中国の米国向け輸出については、一時は145%まで上がった関税が、5月中旬の米中の直接交渉により90日間という期限付きではあるものの30%まで引き下げられ、最悪の事態は避けられたという見方が強まりました。更に、米国向け輸出の減少幅が2023年1-6月など過去と比べてもそれほど大きくなかったことや、欧州と日本向けの輸出が着実に伸びていることが統計で確認できたのは、先進国の輸入企業に対する売掛債権に投資するファンドにとって、想定通りの安心材料と言えるでしょう（図表参照）。

[図表] 中国の輸出額（前年同期比）の推移
(2020年7-12月～2025年1-6月：半年毎)



(注) 図表は、中国税関総署の統計を基に弊社が作成しております（米ドルベース）。



■ ポートフォリオについて

(為替ヘッジあり)

●当ファンド

投資対象ファンドの発行するクラスB (JPY-ACC) シェアの組入比率を高位に維持しました。

●投資対象ファンドの発行するクラスB (JPY-ACC) シェア

優良グローバル企業向け売掛債権に投資を行いました。2025年7月31日時点における組入国数は、米国、日本など計11ヶ国、組入企業数は45社に分散させています。格付は全て投資適格とされるBBB+以上で、各社の格付を平均するとA-となっております。また、為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図りました。

(為替ヘッジなし)

●当ファンド

投資対象ファンドの発行するクラスB (JPY-UH-ACC) シェアの組入比率を高位に維持しました。

●投資対象ファンドの発行するクラスB (JPY-UH-ACC) シェア

優良グローバル企業向け売掛債権に投資を行いました。2025年7月31日時点における組入国数は、米国、日本など計11ヶ国、組入企業数は45社に分散させています。格付は全て投資適格とされるBBB+以上で、各社の格付を平均するとA-となっております。

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておらず、参考指数もございません。

■ 分配金

当期の分配金につきましては、基準価額の水準や市況動向等を勘案し、下記の通りとしました。尚、留保益につきましては、今後の運用方針に基づき運用を行います。

(為替ヘッジあり)

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
当期分配金 (対基準価額比率)	0
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	241

(為替ヘッジなし)

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
当期分配金 (対基準価額比率)	0
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,148

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



今後の運用方針

(為替ヘッジあり)

●当ファンド

投資対象ファンドの発行するクラスB (JPY-ACC) シェアの組入比率を高位に維持することを基本に運用します。

●投資対象ファンドの発行するクラスB (JPY-ACC) シェア

優良グローバル企業向け売掛債権に投資を行い、安定的な利息収入の獲得を追求した運用を行います。また、為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。尚、前述したように、為替ヘッジコストは足元で低下傾向にあります。

(為替ヘッジなし)

●当ファンド

投資対象ファンドの発行するクラスB (JPY-UH-ACC) シェアの組入比率を高位に維持することを基本に運用します。

●投資対象ファンドの発行するクラスB (JPY-UH-ACC) シェア

優良グローバル企業向け売掛債権に投資を行い、安定的な利息収入の獲得を追求した運用を行います。

お知らせ

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、電磁的方法によりご提供する運びとなりました。



当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（短期売掛債権）
信 託 期 間	無期限（2024年9月13日設定）
運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>以下の投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <ol style="list-style-type: none">ケイマン籍投資法人ジークフリード・グローバル・トレード・ファイナンス・ファンドSPCの分離ポートフォリオであるジークフリード・グローバル・トレード・ファイナンス・ファンドSP IIの発行する円建て投資証券クラスB (JPY-ACC) シェア（以下、「投資対象ファンド（為替ヘッジあり）」といいます。）マネーポールファンド (FOFs用)（適格機関投資家限定）の受益証券（以下、「マネーファンド」といいます。）
運 用 方 法	<p>①投資対象ファンド（為替ヘッジあり）を通じて、主として中国及び東南アジア圏の中小企業（輸出企業）の短期（原則として最長6ヶ月）の売掛債権（優良グローバル企業（輸入企業）の買掛債務）に投資を行います。</p> <p>②為替をフルヘッジした円建ての投資証券へ投資することにより、実質組入外貨建資産の為替変動リスクの低減を図ることを目指します。</p> <p>③投資対象ファンド（為替ヘッジあり）の投資比率は、高位とすることを基本とします。</p> <p>④投資対象ファンド（為替ヘッジあり）やマネーファンド、それらへの投資配分比率については、適宜見直しを行います。その際、投資対象ファンド（為替ヘッジあり）あるいはマネーファンドがこの信託の投資対象から除外されたり、類似の戦略と判断される投資信託証券が新たな投資対象として追加されることがあります。</p> <p>⑤市況動向、資金動向等により、上記のような運用ができない場合があります。</p>
投 資 制 限	<p>①投資信託証券および短期金融商品以外には投資を行いません。</p> <p>②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p>
分 配 方 針	<p>年1回の決算時（原則として8月25日、国内休業日の場合は翌国内営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。</p> <p>③収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。</p>



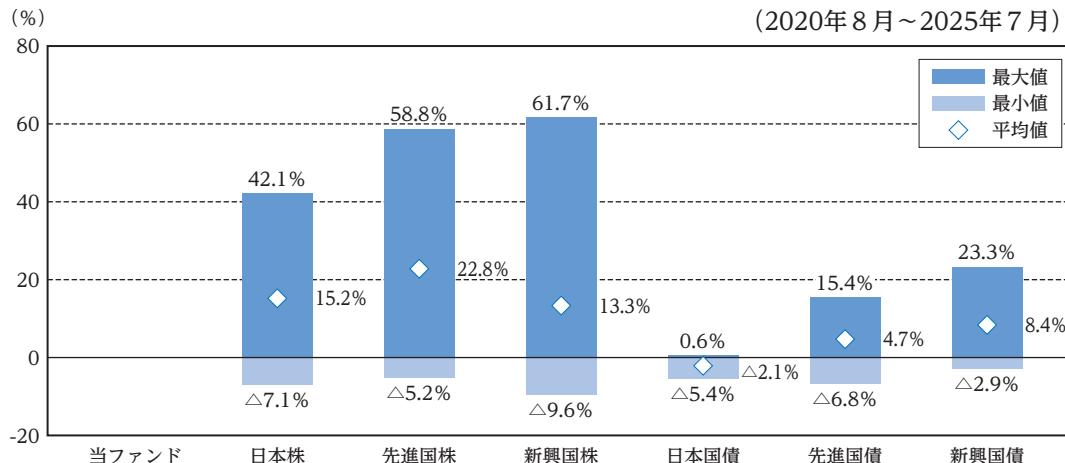
当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（短期売掛債権）
信 託 期 間	無期限（2024年9月13日設定）
運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>以下の投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <ol style="list-style-type: none">ケイマン籍投資法人ジークフリード・グローバル・トレード・ファイナンス・ファンドSPC の分離ポートフォリオであるジークフリード・グローバル・トレード・ファイナンス・ファンドSP II の発行する円建て投資証券クラスB (JPY-UH-ACC) シェア（以下、「投資対象ファンド（為替ヘッジなし）」といいます。）マネーポールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）の受益証券（以下、「マネーファンド」といいます。）
運 用 方 法	<p>①投資対象ファンド（為替ヘッジなし）を通じて、主として中国及び東南アジア圏の中小企業（輸出企業）の短期（原則として最長6ヶ月）の売掛債権（優良グローバル企業（輸入企業）の買掛債務）に投資を行います。</p> <p>②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>③投資対象ファンド（為替ヘッジなし）の投資比率は、高位とすることを基本とします。</p> <p>④投資対象ファンド（為替ヘッジなし）やマネーファンド、それらへの投資配分比率については、適宜見直しを行います。その際、投資対象ファンド（為替ヘッジなし）あるいはマネーファンドがこの信託の投資対象から除外されたり、類似の戦略と判断される投資信託証券が新たな投資対象として追加されることがあります。</p> <p>⑤市況動向、資金動向等により、上記のような運用ができない場合があります。</p>
投 資 制 限	<p>①投資信託証券および短期金融商品以外には投資を行いません。</p> <p>②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p>
分 配 方 針	<p>年1回の決算時（原則として8月25日、国内休業日の場合は翌国内営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。</p> <p>③収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。</p>



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(為替ヘッジあり)



(注) 上記は、過去5年間の各月末時点における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。当ファンドの騰落率につきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

○各資産クラスの指標

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

日本国債：ブルームバーグ日本国債インデックス

先進国債：ブルームバーグ・グローバル国債インデックス（除く日本、人民元）

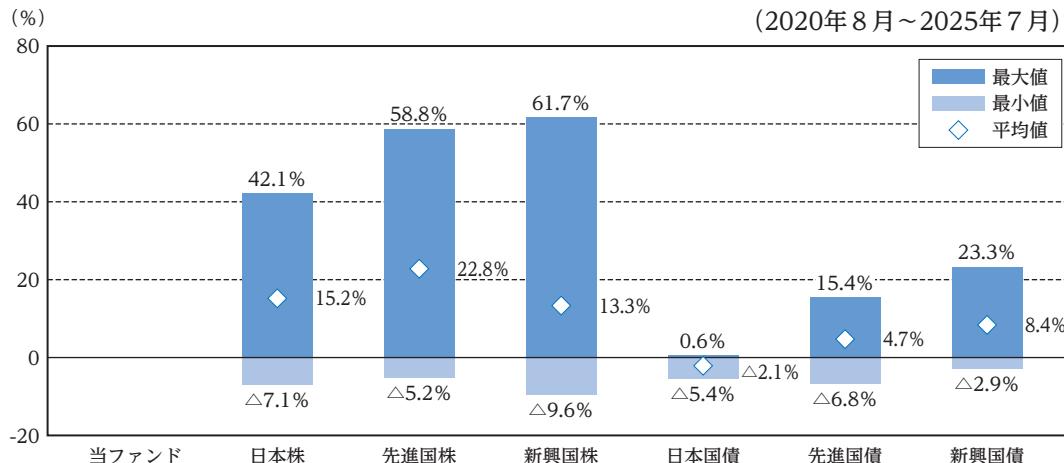
新興国債：ブルームバーグ米ドル建て新興市場債インデックス

海外の指標は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指標を採用しております。

上記各指標に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指標を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社、MSCIコクサイ・インデックス及びMSCIエマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、ブルームバーグ日本国債インデックス、ブルームバーグ・グローバル国債インデックス（除く日本、人民元）及びブルームバーグ米ドル建て新興市場債インデックス：Bloomberg L.P.）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。



(為替ヘッジなし)



(注) 上記は、過去5年間の各月末時点における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。当ファンドの騰落率につきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

○各資産クラスの指標

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

日本国債：ブルームバーグ日本国債インデックス

先進国債：ブルームバーグ・グローバル国債インデックス（除く日本、人民元）

新興国債：ブルームバーグ米ドル建て新興市場債インデックス

海外の指標は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指標を採用しております。

上記各指標に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指標を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社、MSCIコクサイ・インデックス及びMSCIエマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、ブルームバーグ日本国債インデックス、ブルームバーグ・グローバル国債インデックス（除く日本、人民元）及びブルームバーグ米ドル建て新興市場債インデックス：Bloomberg L.P.）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。



当ファンドのデータ

■ 組入資産の内容

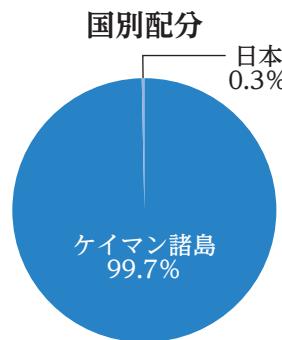
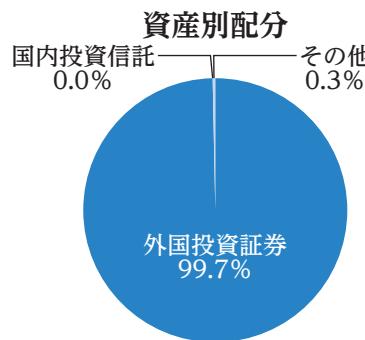
(為替ヘッジあり)

組入ファンド等

(組入銘柄数：2)

ファンド名	当期末 2025年8月25日
ジークフリード・グローバル・トレード・ファイナンス・ファンドSP II クラスB (JPY-ACC) シェア	99.7%
マネーポールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	0.0%

(注) 比率は、当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の割合です。



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注3) 国別配分は原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注4) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。

純資産等

項目	第1期末 2025年8月25日
純資産総額	2,530,110,629円
受益権総口数	2,470,562,701口
1万口当たり基準価額	10,241円

(注) 当期中における追加設定元本額は2,393,486,195円、一部解約元本額は22,923,494円です。



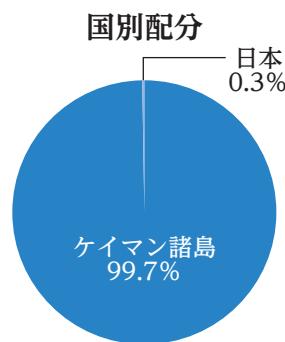
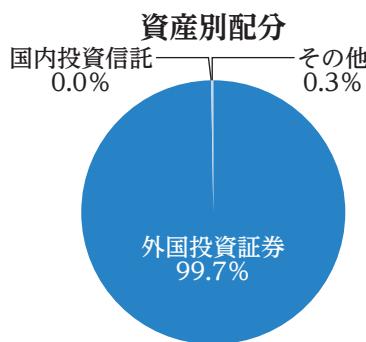
(為替ヘッジなし)

組入ファンド等

(組入銘柄数：2)

ファンド名	当期末 2025年8月25日
ジークフリード・グローバル・トレード・ファイナンス・ファンドSPⅡクラスB (JPY-UH-ACC) シェア	99.7%
マネーパールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	0.0%

(注) 比率は、当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の割合です。



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注3) 国別配分は原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注4) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。

純資産等

項目	第1期末 2025年8月25日
純資産総額	274,010,205円
受益権総口数	245,776,225口
1万口当たり基準価額	11,149円

(注) 当期中における追加設定元本額は153,962,031円、一部解約元本額は8,185,806円です。

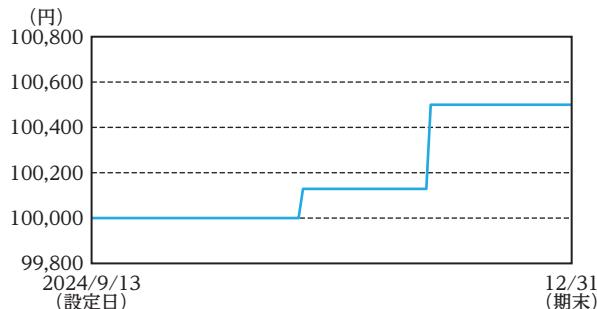


■ 組入上位ファンド（銘柄）の内容

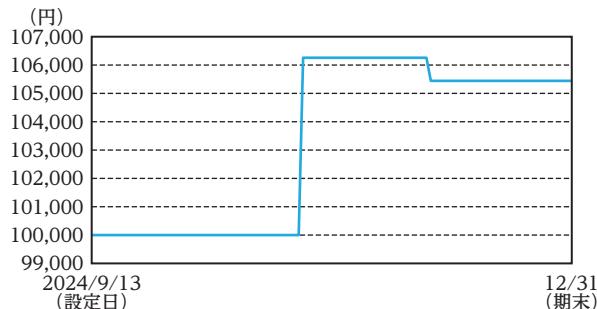
(2024年12月31日現在)

● ジークフリード・グローバル・トレード・ファイナンス・ファンドSPⅡクラスB

(JPY-ACC) シェア 基準価額の推移



(JPY-UH-ACC) シェア 基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

費用明細については、開示されていないため、掲載しておりません。

組入上位10社

(組入企業数：35社)

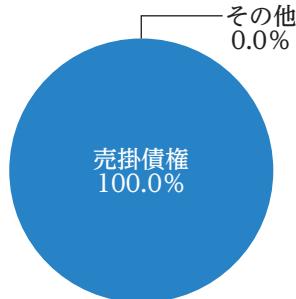
	企業名	国名	比率
1	Komatsu Ltd.	Japan	6.74%
2	Hitachi Ltd.	Japan	6.62%
3	Legrand S.A.	France	5.43%
4	Archer Daniels Midland Co.	USA	5.16%
5	AstraZeneca PLC	UK	5.16%
6	Aisin Corp.	Japan	4.88%
7	Waste Management Inc.	USA	4.56%
8	Fonterra Co-operative Group Ltd.	New Zealand	4.30%
9	AGC, Inc.	Japan	4.21%
10	Bridgestone Corp.	Japan	3.98%

(注) 組入上位10社の比率は、売掛債権のポートフォリオ全体に対する割合です。尚、全組入企業に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載しております。

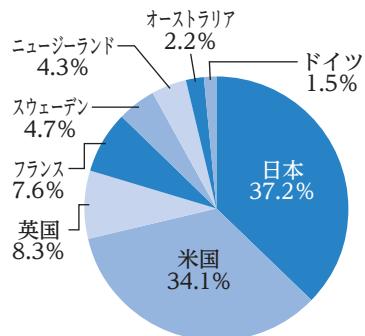


グローバル・サプライチェーン・ファンド (為替ヘッジあり) (為替ヘッジなし)

資産別配分



国別配分



通貨別配分



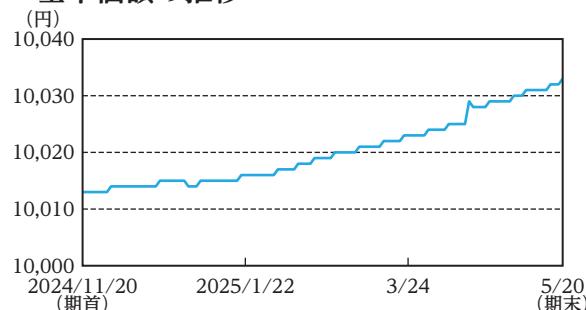
(注) 資産別配分は組入上位ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分及び通貨別配分は売掛債権のポートフォリオ全体に対する割合です。国別配分は、原則として輸入企業の所在国（Siegfried社による分類）を表示しております。



(2025年5月20日現在)

● マネープールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社)	2円	0.016%
(販売会社)	(1)	(0.005)
(受託会社)	(1)	(0.005)
合計	2	0.016

期中の平均基準価額は10,020円です。

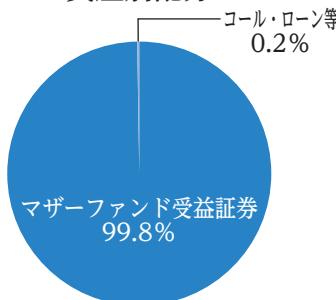
組入ファンド等

(組入銘柄数：1銘柄)

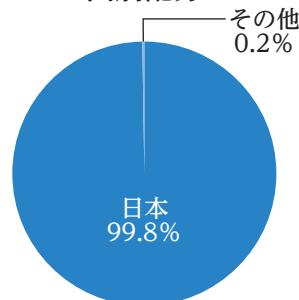
ファンド名	第29期末 2025年5月20日
マネー・マーケット・マザーファンド	99.8%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

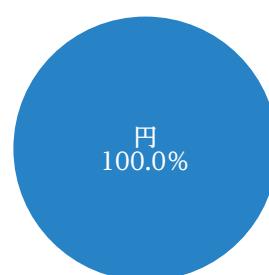
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

(注2) 国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

(注3) 国別配分、通貨別配分は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。



以下は、「マネー・マーケット・マザーファンド」の計算期間（2024年11月21日～2025年5月20日）のデータです。

►マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2024年11月20日～2025年5月20日

(円)

10,220

10,210

10,200

10,190

10,180

2024/11/20

2025/1/22

2025/3/24

基準価額

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：2銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	トウキョウデンリヨクHD 250521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	12.3
2	オリコ 250521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	0.5
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

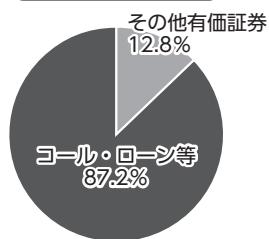
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

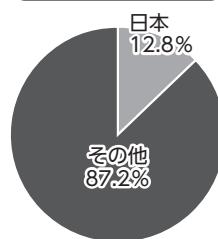
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

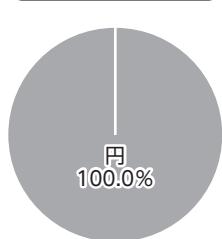
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とした他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

